

テレビ用スタンド  
TV タワースタンド



# FS642

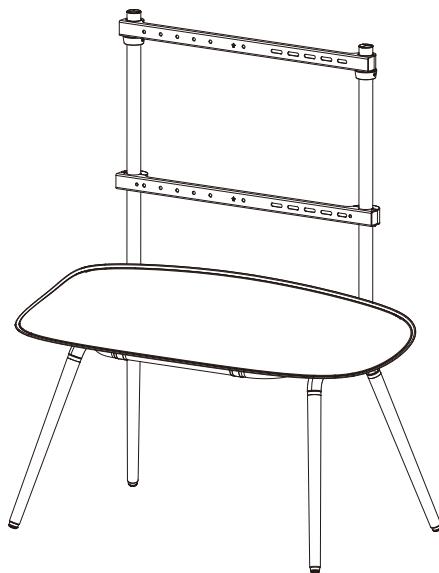
この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。当商品は、DIY（日曜大工）が得意な方でしたら組み立て可能です。

組み立て・取り付けの不備による事故については保証がございませんので、作業に際して十分にご注意ください。自信のない方は、内装業者等に依頼される事をお勧めします。

**当スタンドは、転倒防止ワイヤーの使用が必須になります。**

必ず転倒防止ワイヤー、もしくはその他（チェーンの使用等）の転倒対策を行ってください。  
スタンドの転倒による損害の補償はございません。

設置マニュアル



**施工者の方へ**

**設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください**

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00～18:00（土・日・祝除く）

販売元：スタープラチナ株式会社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F  
<https://starplatinum.co.jp/>

●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面の対応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	縦 200mm～400mm 横 200mm～400mm	<b>37-65</b> インチ	<b>30 kg</b> 

## 施工者の方へ

### 設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



大震災等に備えて、転倒防止ワイヤーのご使用を推奨します。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございません。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・組み立てにあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・テレビ取り付け時は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビスタンド以外のご使用、部品の改造等はいししないでください。
- ・組み立て設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

## 設置にあたって：必ずお読みください

- 必ず平面の室内の床の上にしっかりと設置してください。  
無理な設置はテレビ他設置物の落下等、大怪我に繋がります。
- 設置の際は、接続機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 必要な部品が入っているか、事前にご確認ください。

- 以下の場所には設置をしないでください。

- ・振動があるような不安定な場所
- ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
- ・湿度や温度の高い場所
- ・通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
- ・開閉するドアの側
- ・その他、設置に不適格だと思われる場所



※震災レベルに備える場合、  
転倒防止ワイヤーの使用を



## 設置があると便利な道具

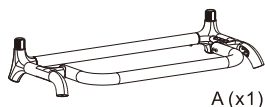
ドライバー

ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。



## 付属部品リスト一覧

以下の部品が揃っているかをご確認ください。足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡下さい。



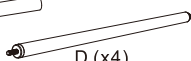
A (x1)



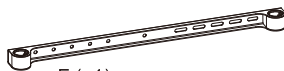
B (x1)



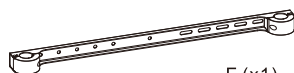
C (x2)



D (x4)



E (x1)



F (x1)



G (x4)



H (x8)



I (x1)



J (x2)



K (x2)



L (x4)



M (x4)



2mm(x1)  
N



4mm(x1)  
O



P (x4)



Q (x4)

### ネジ袋 一式

M-A



M5\_14mm  
4本

M-B



M6\_14mm  
4本

M-C



M6\_30mm  
4本

M-D



M8\_30mm  
4本

M-E



M8\_50mm  
4本

M-F



4個

M-G



8個

M-H



8個

各種ワッシャー  
スペーサー

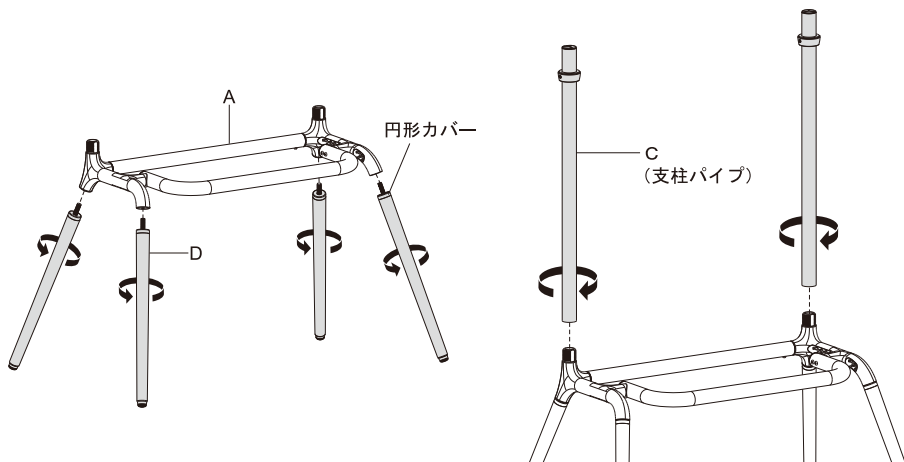


テレビとブラケットを取り付けるネジは、各種テレビに合うよう複数用意されています。万一、合うネジが無かった場合はお手数ですがホームセンターなどで別途お求めください。

## ステップ1

## 四脚台座の組み立て

図を参考に4本の脚をネジ止めします。脚上部の円形カバーが時々外れている場合がありますが、そのままはめ込んでしっかりとネジ止めしてください。次に支柱パイプCをネジ止めします。



### ～支柱パイプを差し込む際の重要な注意点～

支柱パイプを差し込む際の大切なポイントを説明します。この留意点を怠ると、パイプが上手くねじ込めませんので、ご注意ください。

パイプは下図を参考に「必ず水平に」差し込んでねじ込むようにしてください。

「締め始め」が大変重要です。水平に差したつもりでも、少し斜めに入ると、ねじ込んでいく内に徐々に斜めになり、途中で止まってしまいます。「締め始めを正確に水平に」差し込んでいれば、必ず最後まで締まりますので、水平に差し込んでいる事を確認しながらねじ込んでください。

#### ●正しく水平に差し込んでいる場合



#### ●斜めに差し込んでいる場合

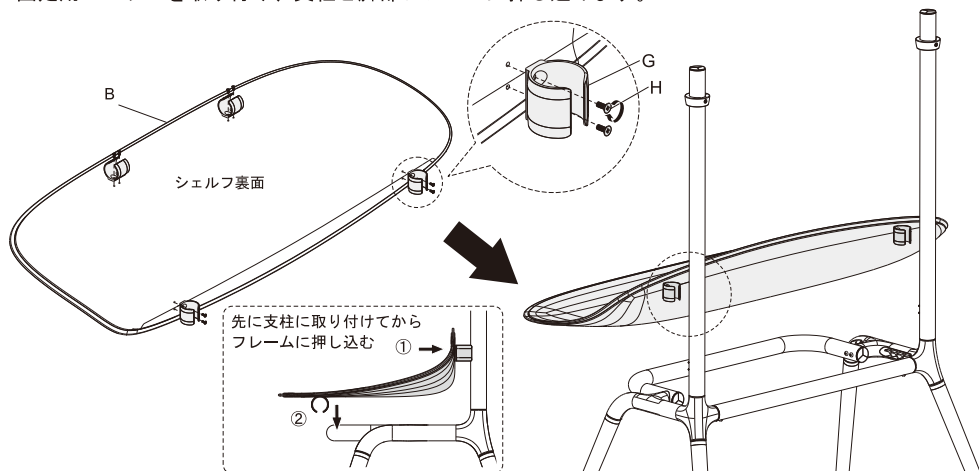


※締め始める時に少し斜めに入ってしまうと徐々にパイプが斜めに入るので、最終的に止まってしまいます。最初に水平に正しく入ると、最後までパイプをねじ込む事が出来ます。

## ステップ2

## シェルフの取り付け

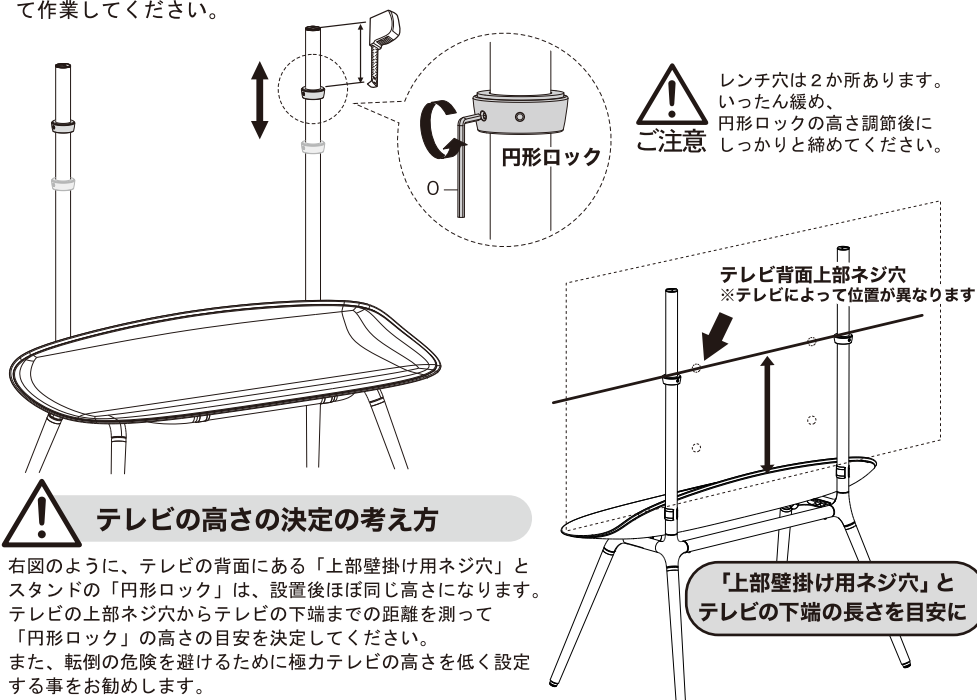
シェルフBを、組み立てたスタンドに取り付けます。シェルフ側面と裏面にあるネジ穴に固定用パーツGを取り付け、支柱と脚部フレームに押し込みます。



## ステップ3

## テレビの高さの調節

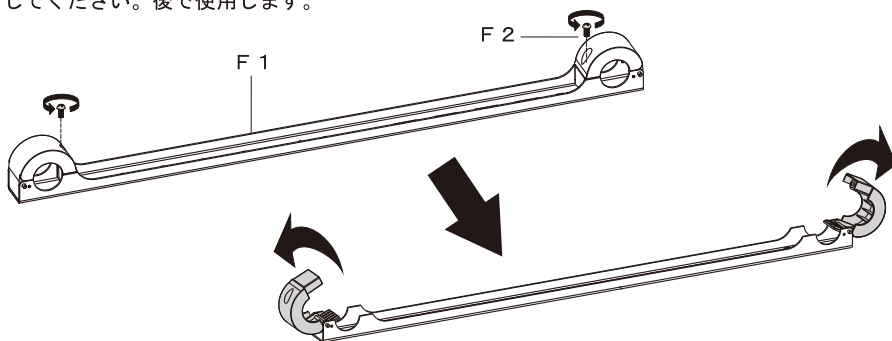
太い六角レンチ（O）を使用して2か所ある、図の「円形ロック」を緩めます。円形ロックを上下させる事で最終的なテレビの高さを調節します。左右のロックが同じ高さになるよう、メジャーで測って作業してください。



## ステップ4

## テレビブラケット(下段)の準備

部品F (下段ブラケット) のネジを図を参考に外します。外したネジF 2はなくさないようにしてください。後で使用します。



図のようにパーツが開閉する事を確認ください。

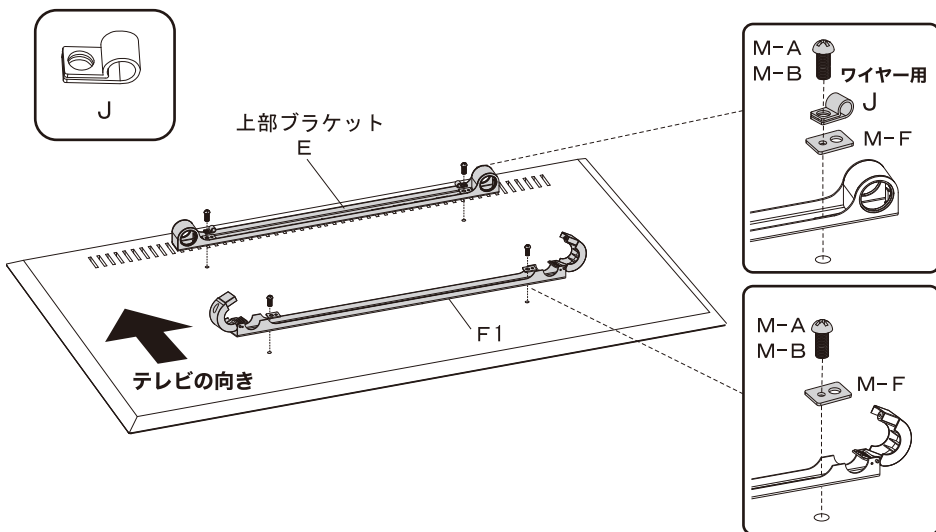
## ステップ5-A

## テレビブラケットの取り付け

上下のテレビブラケットをネジ止めします。

大震災に備えて転倒防止ワイヤーを取り付ける場合、

上部ブラケット (E) にワイヤー用部品 (J) も一緒にネジ止めしてください。



ブラケットの上下を間違えないようご注意ください。

## ステップ5-B

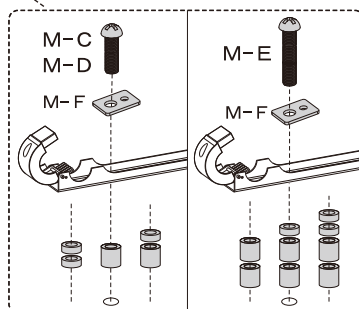
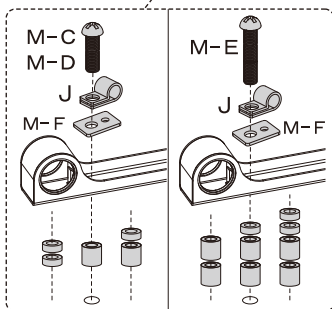
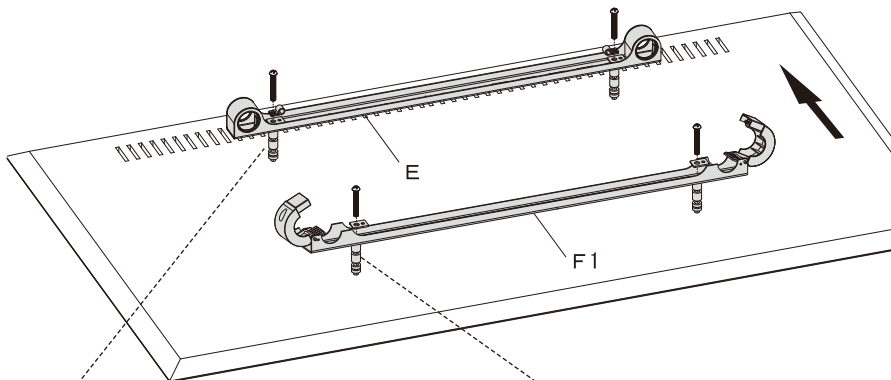
## ブラケットの取り付け方、色々



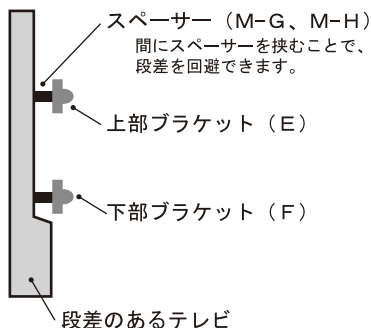
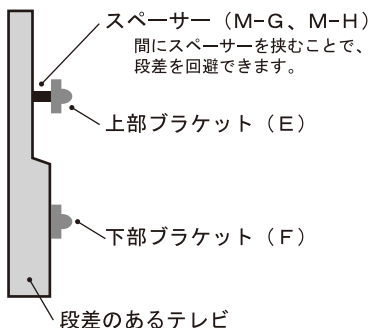
取り付け用ネジは、様々な種類が付属しています。下記も参照に適切なネジを使用ください。ネジが合わない場合はホームセンターなどでお買い求め下さい。

### 「テレビの背面に段差がある」「ネジの長さが合わない」場合の対処方法

部品（M-G、M-H）を組み合わせる事で、ネジが長すぎる場合の微調整をしたり、テレビ背面に段差がある場合に、ブラケットに噛ませることで回避できるケースがあります。



### ●背面に段差があるケースへの対応



## ステップ6

## テレビの取り付け

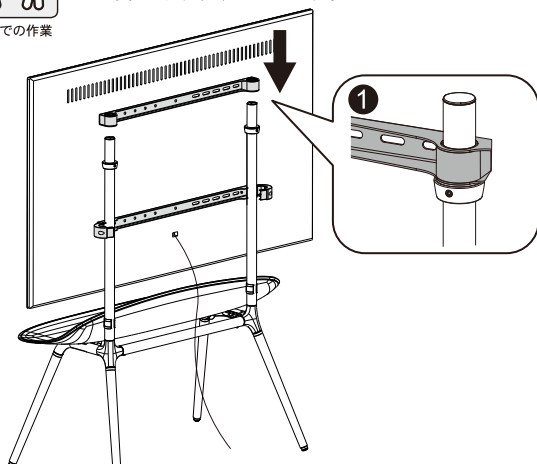


ステップ3で固定した「円形ロック」がしっかり締まっているか、六角レンチ（0）を使用して 再度確認してください。

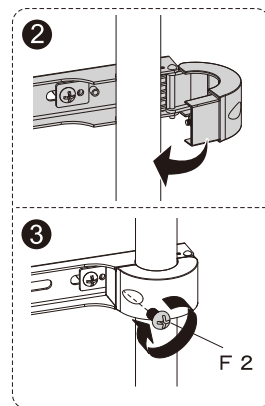


二人での作業

図を参考に上部ブラケットをパイプに通します。  
上部ブラケットがパイプの「円形ロック」に  
引っ掛かり、固定されます。



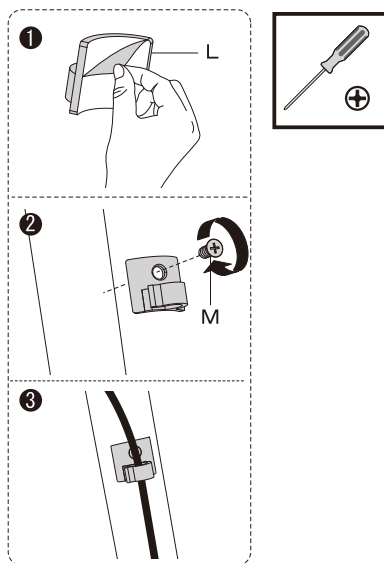
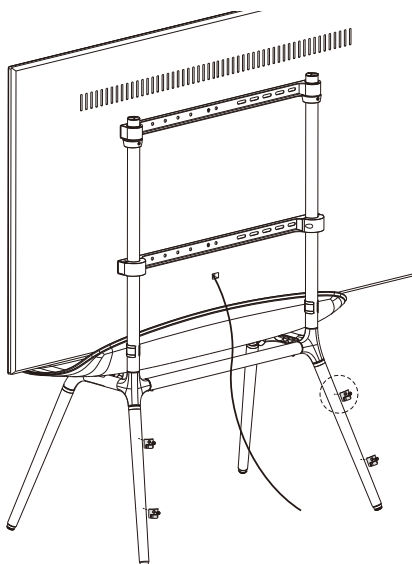
下部ブラケットの開閉パーツを  
閉め、ネジでしっかりとロック  
します。



## ステップ7

## 配線の処理方法

パーツ（L）のシールを剥がします。その上でネジ（M）を使用してパーツ（L）を脚部に固定  
します。配線をパーツ（L）のクリップ部に沿わせませす。

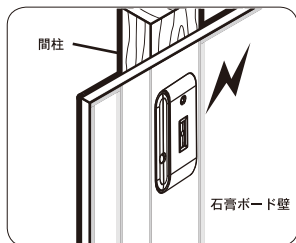


## ステップ8-A

## 転倒防止ワイヤー 用部品のネジ打ち

### 当スタンドは、転倒防止ワイヤーの使用が必須になります。

必ず転倒防止ワイヤー、もしくはその他(チェーンの使用等)の転倒対策を行ってください。  
スタンドの転倒による損害の補償はございません。



石膏ボード壁は間柱に！

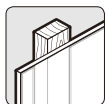
### ●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

転倒防止ワイヤーの設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。

石膏ボードは脆（もろ）いので、ボード裏にある間柱にネジを打たないと簡単にネジが抜けてしまい、危険です。

### ●間柱の見つけ方

壁裏センサーや壁裏発見用の針の使用が便利です。ホームセンターでご相談ください（1000 円～ 1500 円程度）。又、ユーチューブでも「間柱 見つけ方」のワード検索で各種情報が得られます。是非ご参考ください。



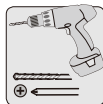
間柱に設置を



あると便利  
壁裏センサー



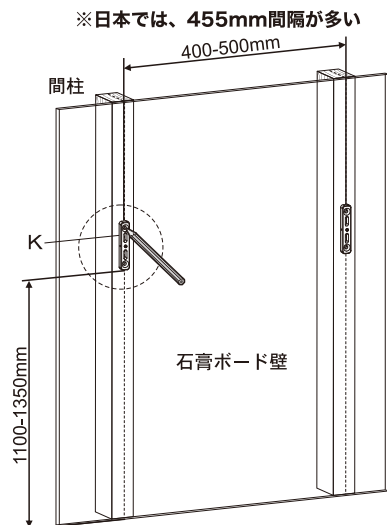
マーキング



壁へのネジ打ち

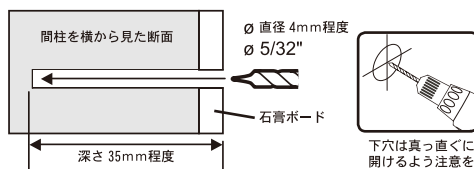
### ●間柱位置の発見とマーキング

間柱が確定したら、下図のように壁固定部品 K のネジ穴にマーキングをします。



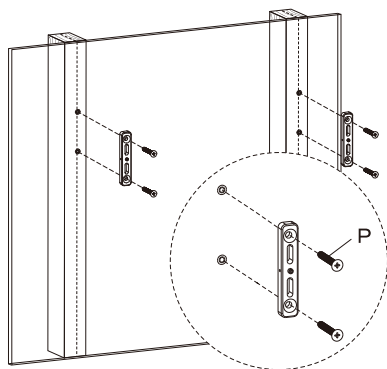
### ●ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。



### ●ネジ打ち用下穴の開口

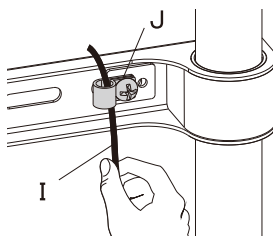
ネジを本打ちし、壁固定部品 K を壁に取り付けます。



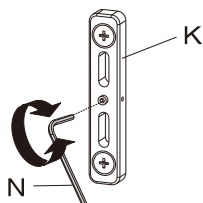
## ステップ8-B

## 転倒防止ワイヤー の取り付け

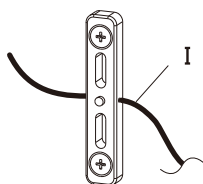
- 上部ブラケットの部品（J）にワイヤー（I）を通します。



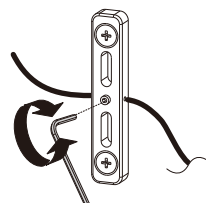
- 壁固定部品（K）にワイヤー（I）を通し、固定します。



六角レンチ（N）で六角ボルトを外します。



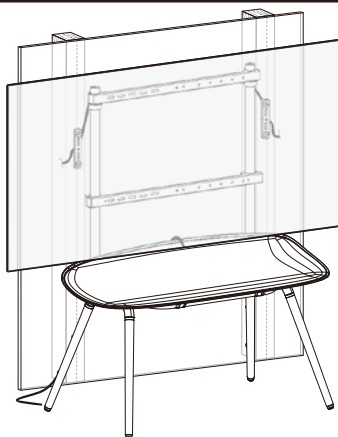
ワイヤー（I）を左右の穴から通します。



ワイヤーの張りが適切かをチェックし、六角レンチ（N）で六角ボルトをきつく締めます。ワイヤーが抜けないことを確認します。



一度、六角ボルトをきつく締めると、ワイヤーが壁固定部品内部で潰れるためワイヤーの長さの再調節は出来なくなります。  
六角ボルトをきつく締める前に、仮止めでワイヤーの張りをチェックしてから増し締めしてください。



設置完成図

製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00～18:00（土・日・祝除く）

販売元：スタープラチナ株式会社 〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F  
<https://starplatinum.co.jp/>